

# 5. 緑区遺産紹介

登録番号  
**11**

もち づか  
**餅塚**

長津田みなみ台七丁目

◆平成29(2017)年登録

交通

電車：JR 横浜線・東急田園都市線  
「長津田」駅南口から徒歩 22 分  
バス停：「上の原」（長津田駅前から市  
営バス 98 系統に乗車）から徒歩 6 分

申請団体



上の原グリーン  
ハイッ自治会

餅塚が緑区遺産に登録される前は、この場所は荒れ放題でした。登録後は付近住民の意識も変わり、歴史の場所として見守り活動を行っています。有志が春と秋に草刈りをし、U字溝の清掃も行っています。盆にはお花とお水が供えてあります。



「餅塚」の塚の上には昭和 30 (1955) 年以前は小さな祠がありました。祠が朽ち果て、昭和 60(1985) 年に地元の有志が現在の石碑を建てました。石碑は 2m くらいで、正面に「十日市場地区土地関係萬霊大供養」と、側面には「餅塚」の文字が刻まれています。この餅塚は、老婆が塚の脇で餅を売っていたと言われることが地名の由来とされています。近くには処刑場があったと言われており、処刑場まで泣きながら歩いたとされる坂は、泣坂と呼ばれました。餅塚は上の原公園にあります。周辺は桜の木があり、満開になる春はとてもよい景観が見られます。

ちよいスポッ



おのたちらくがん  
**御野立落雁**

大正 10 (1921) 年に皇太子殿下（後の昭和天皇）が陸軍大演習を統監されるためにお立ちになった場所です。皇太子殿下は記念に松を植えられ、その後約 7m の「皇太子殿下御野立之跡」の碑が建てられました。周辺の街並みを一望できる見晴らしの良い場所でもあります。なお、落雁とは雁が空から舞い降りる様子です。

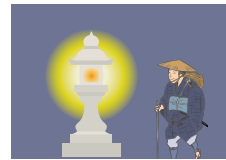


ちよいスポッ



かみじくじょう や とう しちじくじょう や とう  
**上宿常夜燈・下宿常夜燈**

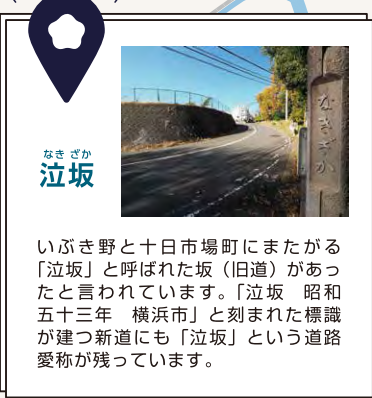
大山参りが盛んになった江戸時代に、長津田は宿場町として栄えました。宿場内には旅館、食べ物屋、かご屋、酒屋、餅屋、せんべい屋などが並び、訪れる人をもてなしました。宿場の入口には常夜燈があり、たどり着いた旅人を歓迎するための灯火が灯されていました。なお、上宿常夜燈（大石神社内）には、火事が起きないようにとの願いも込められています。2基の常夜燈は、ともに横浜市地域史跡に登録されています。



**上宿常夜燈**



**下宿常夜燈**



なまざが  
**泣坂**

いぶき野と十日市場町にまたがる「泣坂」と呼ばれた坂（旧道）があったと言われていました。「泣坂 昭和五十二年 横浜市」と刻まれた標識が建つ新道にも「泣坂」という道路愛称が残っています。

長津田駅周辺エリア

長津田駅周辺エリア

全部巡ると約70分

# 5. 緑区遺産紹介

## 登録番号 21 いわがわげき 岩川堰

いぶき野

◆ 令和3(2021)年登録

交通

電車：JR 横浜線・東急田園都市線「長津田」駅南口から徒歩11分



岩川は、現在の東名高速横浜町田インターチェンジ付近から湧き出す水が、岡部・中村・御前田・下長津田流れ、恩田川に注いでいます。かつての長津田では、田んぼはおおむね岩川の両側に作られました。岩川の水は周辺農地の灌漑に使われるとともに、精米にする際の重労働を担う水車にも使われました。下長津田の灌漑にかかせない岩川堰は、大正12(1923)年の関東大震災で大破しましたが、国や県の助成金と地元の有志が出資した工事費で、大正15(1926)年にコンクリート堰に改修されました。現在は堰としては使用されていませんが、改修工事について岩川堰改造記念碑に記されています。



ちよい知識

### 堰で分かれる水の行方

堰があることで岩川は、本流と水路に分かれます。水路を辿ると横浜線で突き当たりますが、よく見るとかつては水が通り抜けていた穴があります。水の行方を追うことで、線路北側の田んぼでも灌漑用水としての役割を果たしていたことが分かります。



## 登録番号 14 きゅうおおやまちなかながわみちぶんきみちしるべ 旧大山道と神奈川道分岐の道標

長津田六丁目

◆ 平成29(2017)年登録

交通

電車：JR 横浜線・東急田園都市線「長津田」駅南口から徒歩8分



拡大



この台石が重要です!

旧大山道と神奈川道が分岐するところに、江戸時代在銘の石仏があります。

石仏の台石には、「向テ右リ かな川 左 みそノ口」と刻まれており、分岐を示す道標となっています。

当時の交通標識の類のものとして存在し、大山道や神奈川道などに行き交う人々の案内となっていたと言われています。

昔の人は大山道を通って大山に向かっていったんだ(大山信仰)



ちよい知識

### 大山信仰

大山は相模平野の中央にそびえ立つ標高1,252mの山です。神仏の宿る霊山として、古くから多くの人たちの厚い信仰を集めてきました。特に江戸時代中期以降には、庶民が五穀豊穡・雨乞い・家内安全・商売繁盛などを求めて、盛んに「大山参り」が行われました。このため、各所に大山に通じる大山道や大山道標が開かれ、神奈川県内には数多くの道標が存在します。

道標が置かれていた場所は、整地される前は栗林の裾でした。整地の際に、それまで欠けてしまっていたお地藏様の頭を土地の所有者が作ったので、頭だけ新しくなっています。地元の人々は、お地藏様として拝み、道標としての認識は少なかったようです。

申請団体



下長津田自治会

## 登録番号 13 よこはません いわがわ きょうりょう 横浜線の岩川橋梁

いぶき野

◆ 平成29(2017)年登録

交通

電車：JR 横浜線・東急田園都市線「長津田」駅南口から徒歩14分



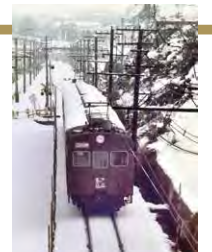
明治41(1908)年に開業した横浜鉄道(現:JR 横浜線)に架かる石積みの橋梁です。いぶき野を流れる岩川に架かるもので、大正12(1923)年に起きた関東大震災にも耐えるほどの強度を持ち、石積みの技術力の高さが認められる橋梁と言われています。横浜鉄道開業から100年以上経った今も現存する数少ない石積橋梁で、貴重な近代土木遺産としても評価されています。

※撮影地点は、一般の立ち入りはできません。

ちよい知識

### 時代とともに変わる電車

現在のJR 横浜線では、銀色の車体に緑と黄緑のラインカラーの電車が走っていますが、昭和の時代には「チョコレート電車」の愛称で親しまれた茶色の電車が走っていました(昭和54(1979)年運行終了)。また、昭和47(1972)年以降は、他線の中古車が転入し、スカイブルーやウグイス色の電車なども見られました。現在と見た目がよく似た電車が登場したのは、昭和63(1988)年です。時代とともに、私たちが乗ってきた電車も、様変わりしていきました。



中山橋から鶴居駅方面を撮影  
撮影者：岩間 茂次 様  
撮影時期：昭和53年

長津田駅周辺エリア

長津田駅周辺エリア

## 5. 緑区遺産紹介

登録番号  
**12**

たか お さん  
**高尾山**

長津田町

◆ 平成29(2017)年登録

交通 電車：東急田園都市線  
「すずかけ台」駅から徒歩20分  
バス停：「高尾原」（長津田駅前から  
神奈中バス津01系統に乗車）から  
徒歩7分

緑区の高尾山は、緑区最西端の長津田辻地域にあり、区内で最も標高が高い山です。（標高：100.46m）山頂には「飯縄神社」が祀られ、地元長津田辻・岡部谷戸地域の氏子によって毎年4月上旬に祭礼が行われています。

大山・丹沢・富士・箱根・秩父方面の眺望が素晴らしいところでもあります。

また、西側の斜面地は、市域でも極めて少ないとされる縄文時代晩期の埋蔵文化財包蔵地として、考古学上も貴重な場所となっています。



すずかけ台駅からの地図は  
こちらからダウンロード  
（長津田地区の  
ウォーキングコース）



◀高尾山頂上付近からの  
丹沢山地方  
※山の名前と位置は目安です

登録番号  
**22**

いっ とう さん かく てん  
**一等三角点「長津田村」**

長津田町

◆ 令和5(2023)年登録

交通 電車：東急田園都市線  
「すずかけ台」駅から徒歩20分  
バス停：「高尾原」（長津田駅前から  
神奈中バス津01系統に乗車）から  
徒歩7分

明治時代、統一された規格と高い精度で国土を把握することを目指し、全国に一等三角点が設置されました。

一等三角点でつくった三角形の三角測量を重ね、地図の骨組みとなる一等三角網が作られていきました。

横浜市内で唯一の一等三角点の点名（三角点の名前）は「長津田村」といい、緑区高尾山の山頂にあります。

明治16年、三角形の底辺として長さを実測した相模野基線（※）から「長津田村」を頂点とする三角形が結ばれ、全国を覆う一等三角網に繋げていきました。後の5万分の1地形図に繋がる取組みがここから始まりました。

※ 相模野基線：一等三角点「下溝村」（相模原市指定文化財「相模野基線北端点」）と一等三角点「座間村」（座間市指定重要文化財「相模野基線南端点」）を結ぶ直線で、明治15年に5209.9697mと観測されました。「我が国近代測量の発祥地」として公益社団法人土木学会の選奨土木遺産になっています。



## 6. 所在地別緑区遺産一覧

### 【いぶき野】

いぶき野 1-2 付近...②岩川堰 (P.21~24)  
いぶき野 41-5 付近...⑬横浜線の岩川橋梁 (P.21~24)

### 【鴨居】

鴨居 2-4 (林光寺境内)...⑧奇利吹の瀧 (P.5~6)  
鴨居 4-13-1...⑤鴨居杉山神社の絵馬 (P.7~8)  
鴨居 7-32...⑥ごはん塚 (P.9)

### 【北八朔町】

北八朔町 1777-1...⑳旧山下小学校 木造校舎・校門 (P.16)

### 【小山町】

小山町 624...⑲小山村殿様荒川氏陣屋跡 (P.15)  
小山町 670 付近...⑨恩田川の念仏橋跡 (P.13・14)

### 【台村町】

台村町周辺...①緑新栄会 界限 (P.11・12)

### 【長津田】

長津田 6-21-19 付近...⑭旧大古道と神奈川道分岐の道標 (P.21~24)

### 【長津田町】

長津田町 5617...⑫高尾山 (P.25)  
長津田町 5617...⑳一等三角点「長津田村」(P.25)

### 【長津田みなみ台】

長津田みなみ台  
7-33-18 (上の原公園内)...⑪餅塚 (P.21・22)

### 【白山】

白山 2-35...④白山神社の碑 (P.7~8)

### 【東本郷】

東本郷 2-16...③東本郷第一公園から  
の山岳展望 (P.5・6)

### 【三保町】

三保町 500...⑩大古道道標 (P.19・20)  
三保町 930-8...⑩念珠坂 (P.19・20)  
三保町 1427-3 付近...⑩杉沢堰 (P.17・18)  
三保町 1427-3 付近...⑰神明谷戸 お滝様 (P.17・18)  
三保町 2038 (舊城寺境内)...⑮山田右京之進城跡碑 (P.13・14)  
三保町 2453 付近...②久保谷戸 お滝様 (P.11・12)

## 7. 参考文献等

- ・「緑区遺産」登録申請書
- ・百瀬敏夫「一九三五年神奈川県名勝・史蹟投票：横浜貿易新報社四周年記念事業」『市史通信(6)』横浜市.2009年
- ・横浜市緑区「鴨居駅周辺の魅力マップ：皆でつくる住みよいまち」横浜市緑区役所区政推進課企画調整係.2011年
- ・横浜市政策局政策課『調査季報：横浜の政策力87号』横浜市政策局.1985年
- ・深谷市「畠山重忠辞典：武蔵武士の鑑 畠山重忠公について学ぶ」深谷市教育委員会.2020年
- ・横浜市埋蔵文化財センター「鴨居原遺跡発掘調査報告書：緑区鴨居原地区農業土地基盤整備事業に伴う埋蔵文化財調査報告書」横浜市埋蔵文化財センター.1990年
- ・鴨居史編集委員会『鴨居史』鴨居史刊行委員会.2001年
- ・榎田静見『創立記念八十周年の歩み』横浜市立鴨居小学校.1954年
- ・緑区郷土史研究会『都筑の丘そぞろ歩き1』緑区郷土史研究会.1978年
- ・岩沢滝蔵『横浜市緑区小山町郷土誌稿』緑区小山町自治会.1981年
- ・神奈川県高等学校教科研究会社会科学歴史分科『神奈川県の歴史散歩』山川出版社.1987年
- ・相澤雅雄『横浜・緑区 歴史の舞台を歩く』昭和書院.1991年
- ・加藤友康、高笠利彦、長沢利明、山田邦明『年中行事大辞典』吉川弘文館.2009年
- ・横浜市歴史博物館『中世よこはまの学僧印融：戦国に生きた真言密教僧の足跡』横浜市歴史博物館.1997年
- ・相澤雅雄『緑区遺産三保地区巡り！：「緑区制50周年記念」』相澤雅雄.2019年
- ・神奈川新聞社、横浜市市民活力推進局「横浜 YOKOHAMA：横浜の坂道散歩をお楽しみください！2008年秋号 Vol.22」神奈川新聞社.2008年
- ・林房幸『長津田の歴史を訪ねて：長津田風土記』林房幸.1985年
- ・長津田の歴史を活かしたまちづくり研究会、横浜市緑区役所「長津田歴史探訪マップ：皆でつくる魅力あるまち 長津田の歴史を活かしたまちづくり研究会.2014年
- ・横浜市立長津田小学校『わたしたちの長津田』わたしたちの長津田編集委員会.1985年
- ・十日市場小学校（横浜市立）『十日市場の歴史』横浜市立十日市場小学校.1978年
- ・緑区史編集委員会『横浜緑区史 資料編 第1巻』緑区史刊行委員会.1985年
- ・緑区郷土史研究会『都筑文化』緑区郷土史研究会.1980年 ほか